

ウィルライフ株式会社 様

2022 年度トライウォール『エコフィン生命の森』植林報告

以下のように、植林作業を実施したことを報告します。

1. 植林作業実施概況

植林 実施日	春季	植林作業 2022 年 5 月 11 日～19 日 新規植林地 約 8ha 新植林本数 20,000 本
植林場所	モンゴル国セレンゲ県 アルタンボラグ村ゴロワンツァガントルゴイ周辺	
樹種	ヨーロッパアカマツ <i>Pinus sylvestris</i> (在来種) の 2 年生苗	
植林作業	オグナー (GNC Mongolia スタッフ) サラ (GNC Mongolia スタッフ) アルタンボラグ村及びボゴント村の村民など約 45 名 (延べ人数)	

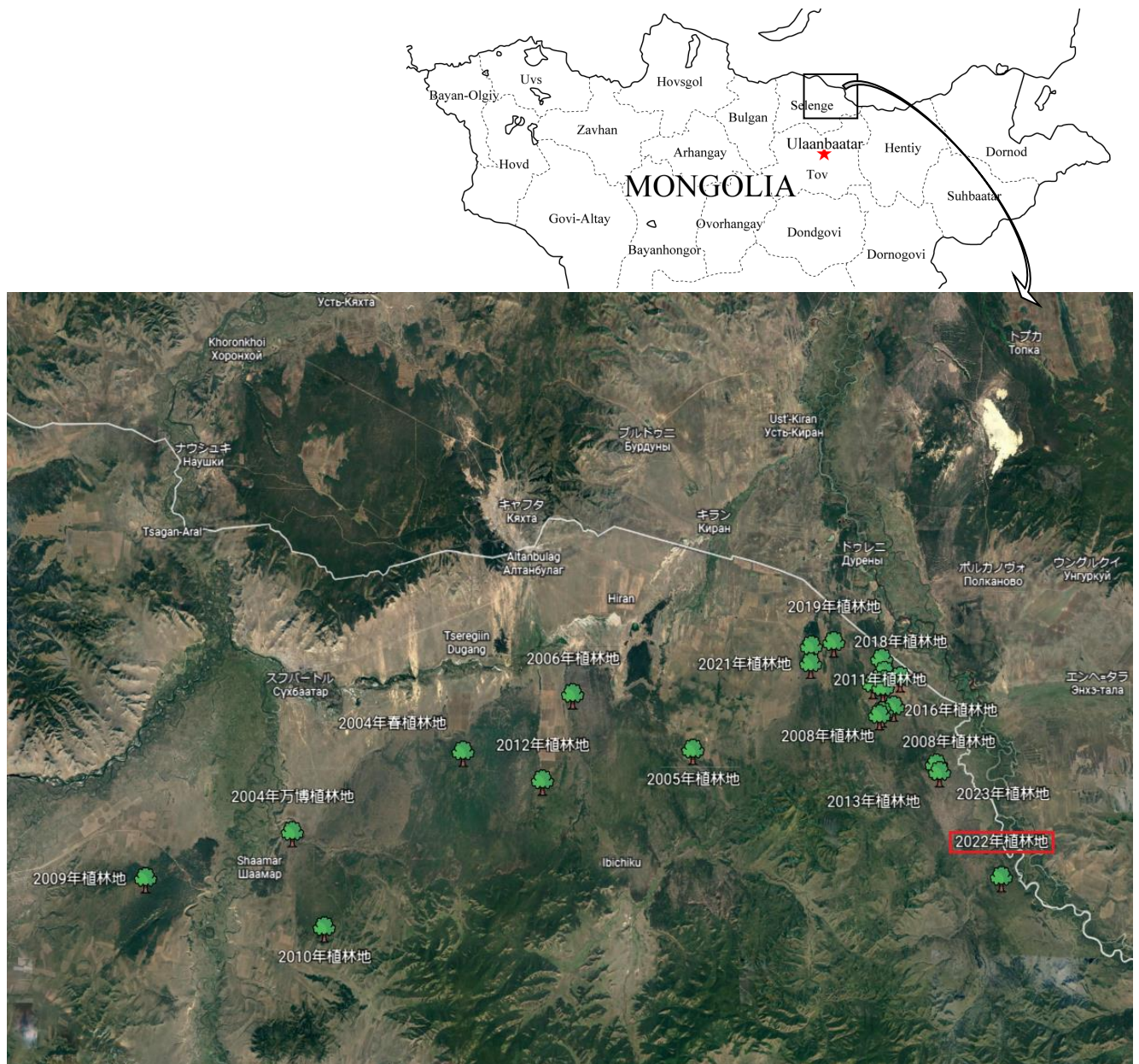
2. 2022 年植林地の概況報告

2022 年 5 月に、予定していた 4ha の植林が全て完了し、また 9 月に生長状況の確認を実施したことをここに報告する。今回植林に用いた苗は、セレンゲ県ボゴント村の苗畑で育てられた 2 年生アカマツ苗を使用した。今年度の植林密度は 2,500 本/ha である。

2022 年の植林地は、アルタンボラグ村から南東へ約 50km 離れたロシアとの国境付近にあり、山の頂上からふもとにかけての場所である。当地域は過去に森林火災の被害に遭っており、アカマツ・シラカバ等の天然更新が部分的に見られるものの、森林の再生までには気が遠くなるほどの時間がかかると考えられる。また、植林地周辺では家畜の放牧は行われておらず、居住者もいないため、家畜の食害の危惧はほぼない。豊かな生態系を持つ森林を早期復元するため、植林による事業を実施する。

近年、毎年のように世界各地で山火事のニュースが報道されている。モンゴル国では 2012 年頃以降、行政主導の元、村役場や森林組合などの人員が火災危険期にパトロール隊を結成し、森林火災の早期発見、初期消火活動、及び関所での注意喚起を行っているため、大規模に延焼する可能性は低くなってきている。

3. 植林地の位置



2022 年植林地の GPS 捕捉状況

50° 03' 42.6"N 107° 04' 14.4"E

4. 5月 植林時の写真



遠景 1



遠景 2



ゲルの組み立て



ゲル完成



トラクターによる植林前の溝掘り



溝掘りアタッチメント装着



溝掘り

溝を掘り、溝の底に植林することにより
日射を減らし乾燥化を防ぐ

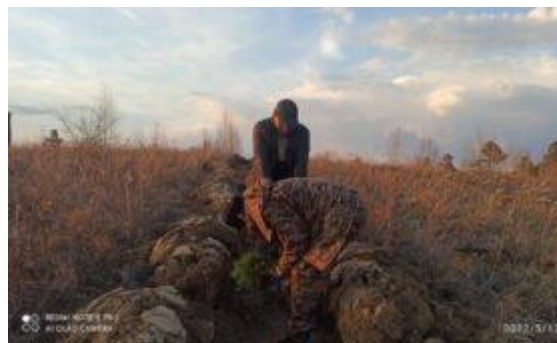


溝掘り

大きな溝には雨が溜まりやすいため、
乾燥が防げる



二人一組で効率よく植付



植付作業



植付作業

地面に大きく溝を掘り、一番太陽が
当たらない端の部分に苗木を植える



植付作業

日光の当たり過ぎを防ぎ乾燥を避ける



植付作業

苗を溝の端に寄せて植え、乾燥を防ぐ



植付作業



植付作業



植付作業



植付作業



植付した苗

5. 9月（植林から4ヶ月経過）植林地視察の写真



各定点から4方向の撮影
植林地の概況を把握



各定点から4方向の撮影
植林地の概況を把握



各定点から4方向の撮影
植林地の概況を把握



各定点から4方向の撮影
植林地の概況を把握



苗木の生長を把握するため、樹高測定
1点目 約9.0cm



苗木の成長を生長するため、樹高測定
2点目 約9.0cm



苗木の生長を把握するため、樹高測定
3点目 約3.0cm



苗木の生長を把握するため、樹高測定
4点目 約4.0cm



苗木の生長を把握するため、樹高測定
5点目 約5.5cm



苗木の生長状況

6. 看板写真

